

KEIO VA
ADOSH
KWA NG
STO

XIV

東西四大学合唱演奏会

同志社グリークラブ 早稲田大学グリークラブ
関西学院グリークラブ 慶応義塾ワグネルソサエティー

1965年6月19日(土) P.M. 6:30

6月20日(日) P.M. 1:30

東京文化会館

東西四大学合唱連盟

第14回東西四大学合唱演奏会

1965年6月19日(土) P.M. 6:30

6月20日(日) P.M. 1:30

東京文化会館

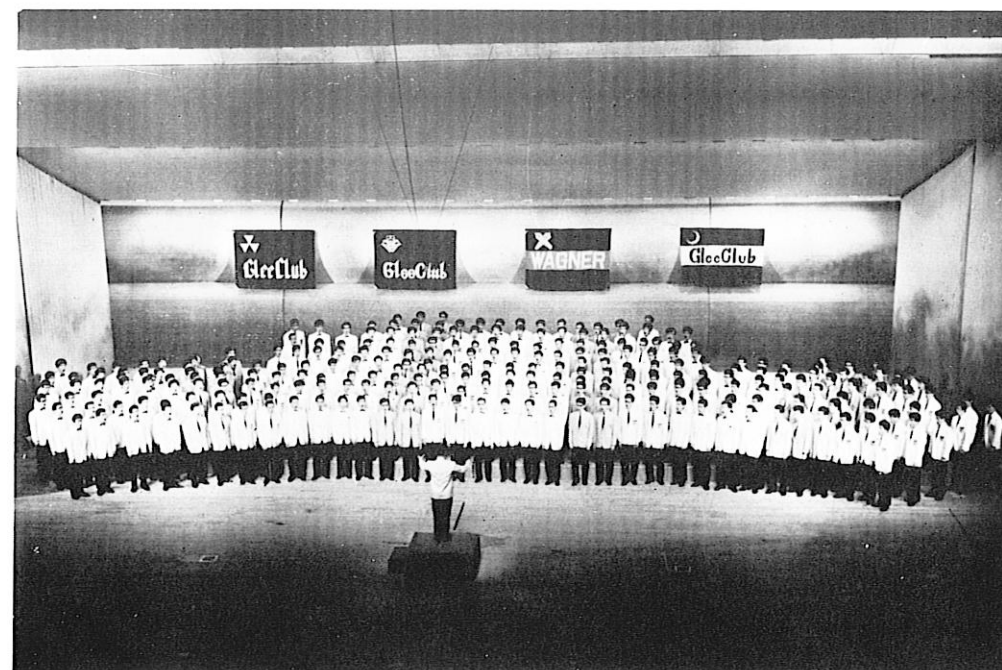
東西四大学合唱連盟委員

松 葉 隼 彦(関西学院)

福 井 勲(早稲田)

滝 沢 裕 人(同志社)

林 貞 明(慶応義塾)



御 挨 拶

今日ここに多数御来場下さいました皆様と共に、第14回東西四大学合唱演奏会をもち得ましたことは、私達の大きな喜びであり、一同心から感謝いたしております。

私達は昨年、関西での四連が終わってから「来年はより密度の高いものを……」と東京での再会を約して、次の日から、今日を目ざし厳しい練習を重ねて参りました。しかし、その成果を発表するこの演奏会を前に私達の心にあるのは、練習中に異常なまでに燃やしたライバル意識というより、苦しかった訓練の上になつて、誠意と熱意をもって音楽芸術の極に至ってみたいという、音楽を愛する者ならではの美しい静寂なのであります。そういった私達の気持が客席の皆様を感じとっていただければ、それに勝る喜びはありません。

この演奏会を開催するに際しまして、御援助、御指導下さいました諸先生、関係者の皆様に厚くお礼を申し上げますと共に、今後共よろしく御鞭撻の程、お願い致します。

東 西 四 大 学 合 唱 連 盟

“第14回東西四大学



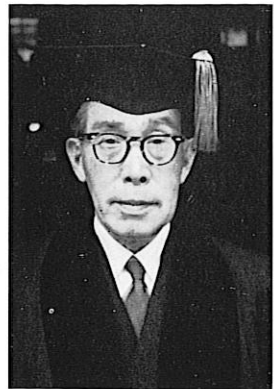
関西学院院長 小 宮 孝

東西四大学合唱演奏会も今年で第14回を迎え、年を追って充実発展するありさまを見ま
して心から歓び、その前途を祝福するものであります。それと共に四大学合唱団並びにこ
の演奏会に寄せられました御支援に対し心からの謝意を表します。

この演奏会は我国合唱音楽界において益々特色のあるものとなりつゝあり、年々の研究
と練磨の跡は斯界権威の方々からさえも敬意と賞讃を受けているところであります。

今日、東南アジアにおける緊迫した政治状態を思う時、世界は一触即発の危機にある事
を忘れられません。平穏な一日であっても、いつのまにか戦争という津波の余波が日本に
もひた寄せているではありませんか。嗚呼、この時諸君が大自然の中に秘められていた音楽で、若人の優れた感覚で、
心底からの人間の声を会堂一杯に響かせてくれるのです。

東西四大学の諸君が年に1回の合唱音楽会を通じて相互の合唱を向上させるのは無論のこと、お互いの親交の上に
その結びつきを益々強固にされることを祈ります。



早稲田大学総長 大 浜 信 泉

学生合唱界のトップレベルにある慶応義塾ワグネルソサィエティー、同志社グリークラブ、
関西学院グリークラブおよび学園の代表的音楽サークルである早稲田大学グリークラブが、
一堂に会して東西四大学合唱演奏会を催しますことは、学園の関係者としてまことに慶び
にあたえません。

この催しは、毎年関西と関東に会場をもって、すでに14回目を数え、しかも回を追うご
とに盛大になっておるとのことです。大学生活には重要な場であるサークル活動の
日頃の訓練の成果を御披露するわけありますので、その出来栄に大きな期待をすると
ともに、この催しを通じて、各大学間が、各面での親睦と交流になお一そうの緊密を深めるならこれに優る幸はあり
ません。

この演奏会のために御尽力賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

合唱演奏会に寄せて”

同志社総長 住 谷 悦 治



日本の国民性が論ぜられるとき、いつもその一つに島国根性が挙げられます。東海に孤
立した島国であるという立地条件からか、また徳川時代の永年にわたる鎖国のためか、わ
が国民は閉鎖的排他的な性格をもっています。このことは学問にせよ文化にせよ、その限
られた狭い範囲の中ではそれなりに成長はしますが、偏見偏向のみられることが多く、ま
た飛躍的な発展を阻止することが多いようです。

しかし戦後、大学間でとみに学問・文化・スポーツなど各方面で交流交歓が行われるよ
うになったことはまことによろこばしいことであります。特に本日のように学生の合唱団
としては品・質ともにわが国のトップレベルにある四大学が一堂に会し互に技を競い友好を深めることは、ひとり四
大学合唱団の向上発展と交誼を齎すだけのものではなく、ひいては諸大学間の交流を促進することともなる有意義な
催しだと思います。

希わくは、この催しが関係者の自画自讃に陥ることなく、より高いより広い視野に立ち、互に長をとり、短を補い、
互に大きく飛躍発展するための一礎石となるよう祈って已みません。

ひとこと所見を述べてご挨拶にかえます。

慶応義塾塾長 永 澤 邦 男



東西四大学合唱演奏会は、今年をもって、第14回目を迎えるそうですが、年毎に充実の
度を増してくる演奏を聴かせていただくにつけ、学生諸君のひたむきな精進に心を打たれ
ざるをえません。

学業の余暇に、学生諸君が、音楽追求という共通の趣味を通じて、歌い合い、語り合う
ことは、人間形成ということにおいてきわめて意義深いものです。しかし、それ以上に、
音楽活動によって培われる根性と、協調の精神は、いつまでも諸君1人1人の胸の奥に宿
って、必ずや今後の飛躍に寄与するところがあると言えましょう。

今日、ここに、東西の名門校が一堂に集まりました。各校お互いに立派な演奏を行いたいという熱意に燃えている
ことと思います。でもこの演奏会はコンクールではありません。年に一度の合唱の祭典、それは単に歌う技術だけを
競うのではなく、歌うよろこび、音楽の世界に沈潜する喜びを心から味わうことのできる祝典といえましょう。遠来の
関西学院、同志社両校、そして東京の早稲田、慶応義塾両校の諸君が、それぞれ日頃の練磨の成果を最高のコンディ
ションで聴かせて下さることを願うと共に、現在最高のレベルにある諸君達の演奏が、合唱界をリードするものであ
ってほしいと思います。

最後に、この演奏会を開くにあたり、御尽力下さった先輩、関係各位、並びに御来場の皆様に深く御礼申し上げま
す。

関西学院グリークラブ

指揮 北村 協一

伴奏 沖本ひとみ

北野京子

REQUIEM

作曲 ケルビーニ

編曲 岡本秩典

1. Introitus und Kyrie
2. Dies Irae
3. Offertorium
4. Agnus Dei

早稲田大学グリークラブ

指揮 石井 歓

伴奏 南院紀子

新沼康博

枯木と太陽の歌

作詞 中田浩一郎

作曲 石井 歓

1. 枯木はひとりで唱う
2. 花と太陽の会話
3. 冬の夜の木枯の合唱
4. 枯木は太陽に祈る

エール交歓

第一日 同志社

慶応義塾

関西学院

早稲田

第二日 関西学院

早稲田

同志社

慶応義塾

合同演奏

指揮 木下 保

組曲「蛙の歌」

作曲 南 弘 明

作詩 草野心平

同志社グリークラブ

1965年1月29日早晩銃殺処刑されたベトナム少年の霊に捧ぐ、ショスタコヴィチの「十の詩曲」による6つの男声合唱曲

指揮 福永陽一郎

作曲 ショスタコヴィチ
十の詩曲 編曲 福永陽一郎

1. 雄々しく進もう
2. 果てなき荒野
3. 死刑の戦死
4. 怒りの日
5. 鎮魂歌
6. 歌

慶応義塾ワグネル・ソサィエティー

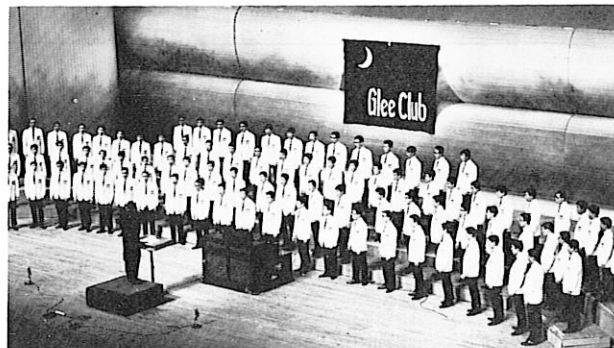
指揮 木下 保

伴奏 辻 敬 夫

Jagdlieder 「狩の歌」

作曲 シューマン

1. Zur hohen Jagd
2. Habet Acht!
3. Jagd morgen
4. Frühe
5. Beider Flasche



関西学院グリークラブ

レクイエム

REQUIEM D. Moli

ベートーヴェンが同時代の音楽家のうちで最も偉大な人として尊敬したケルビーニは、古典派からロマン派への過渡期における最大の国際的音楽家の一人であった。ルイーダ・ケルビーニはその名の示すごとく、生まれはイタリア人であり、1760年9月14日にフィレンツェで出生した。劇場のチェンバロ奏者であった父親やフィレンツェの音楽家から学んだ後、1778年から4年間ヴェネチアでサルティのもとで、特に対位法を習得した。教会音楽作品ばかり書いていた彼は、1780年の「クイントー・ファビオ」以来オペラの世界に進出した。

1784年ケルビーニはロンドンに移り、王室作曲家となったが、86-7年にはパリに滞在し、名声を得た。トリノーでオペラ「イフィジェニア・イン・アウリーデ」を書き、1788年同国人のヴァイオリン名手ヴィオッティのすすめで、パリに居を定めた。

オペラ「メデー」や「二日間」で全欧に知られるようになったが、ナポレオンはバイエルンや他の音楽家を庇護してケルビーニを遠ざけていた。1805年ウィーンに招かれ、特に翌年上演されたドイツ語のオペラ「ファニスカ」は大成功であった。だが今日では、そのあまりに著しい名技主義にわざわざいわれて、代表作「メデー」以外は、とりあげられる機会も少い。それに反し宗教音楽、とりわけその「レクイエム」は、彼の作品系列の中で、ごく小さい部分しかしめていないにもかかわらず、今日では聞かれる機会が多い。そこでは、いたずらに名技主義に走ることなく、ケルビーニの個性が端的にうかがえるからにはかならない。

ケルビーニのレクイエムとしては、四部合唱と大管弦楽のためのハ短調の第一レクイエムがよく知られているが、ニ短調のものは、1836年の2月あるいは3月に書き始められ、9月24日に完成された男声三部合唱と管弦楽のための第二ミサ曲である。ケルビーニは十一のミサ曲、それぞれ一曲のマニフィカト、テ・デウムその他、多数のモテットを書いているが、ニ短調の第二レクイエムは彼の晩年の、最も円熟した大曲である。これが男声のみに対して書かれているのは、当時のフランス教会当局が女声合唱に対して否定的だったからと言われているが、却って死者のためのミサ曲にはふさわしい荘重な深みを出している。

死者のために行われるミサの最初の言葉が、Requiem aeternamで始まっているので、この死者のためのミサ曲をRequiem（安息の意）と言う。レクイエムには一般のミサ曲にあるGloriaとCredoの楽章がなく、その代りにIntroitus（入祭文）、Dies Irae（怒りの日）等が加えられている。

Introitus und Kyrie この曲は入祭文と哀願誦の2部から成立つ。Introitusは序曲に相当するもので、祭司が祭壇の方へ進んでゆく間に歌われる。「主よ、永遠の安息を彼等に与え給え、絶えざる光を彼等の上に照らし給え」。

Dies Irae 砲弾の炸裂のような響きに始まるこの曲は全曲中で最も大きい構成の曲である。通常Sequence（続誦）と呼ばれる部分で、最後の審判の地獄絵が展開される。「その日こそ怒りの日である。デビデとシビラの予言の如くに、此の世を灰にしてしまうであろう……」に始まり、「裁きを受けるものの苦悩」、「審判のラッパ」、「主に対する救いの願い」等数多くの内容を表現し、Lacrymosa dies illaに始まる一連の句によって最も劇的なこの章は終る。

Offertorium ミサの儀式中、パンと葡萄酒とを聖壇に供える際に歌われる聖歌で、神に犠牲をささげ、死者が罪と地獄から免れられんことを祈る歌である。

Agnus Dei 神の仔羊であるキリストに捧げる祈り。「世の罪をのぞき給う神の仔羊よ、彼等に安息を与え給え」。

早稲田大学グリークラブ



枯木と太陽の歌

男声合唱というものは、混声合唱をオーケストラにたとえるならば、ブラスバンドにあたる様なもので、やたらと吠えるばかりであり、音色に限られ、音の広がりが狭いのでスケールが小さく、ゴツゴツしていて繊細さや華麗さは出せない……などという人が居るそうです。

なる程、理論的に云うとそうなるかも知れません。確かに混声に比べると男声の方は音域が一オクターブ狭いし、男ばかりだとするとゴツゴツしているというイメージを与えるのが普通でしょう。それに事実オーケストラを背景にした大合唱というのは殆んど混声で書かれているのです。

しかし私はそういう言葉を聞くと逆に質問したくなるのです。「じゃ、年々男声合唱が盛んになり、毎年おびただしい男声合唱団が生れ、男声合唱用に使われた曲が増えているのは、どのように説明するつもりですか」

彼の一番間違っている事は音楽を含む芸術というものを何でもかでも理論でもって片づけようとする事。それから、残念ながら男声合唱というものを今までに一度も聞いた事がない、少なくとも『枯木と太陽の歌』は聞いた事がない。

これは確かでしょう。というのは『枯木と太陽の歌』を聞いて、彼の云う様な全く逆のイメージを持つという事は普通の耳を持っている人間ならどうしたって不可能だと思われるからです。そして、この『枯木』こそ、今日の男声合唱の代表なのです。

さてこの『枯木と太陽の歌』はできてからすでに10年近く経過していますが、他の合唱曲とかなり趣を異にしています。

まず第一に従来の作曲の形式を破って詩と曲とが同時に出来たという事。

次に、今までの男声合唱曲にはなかった手法、即ち一つの単純素朴なモチーフを幾度も追求する事によって生ずる感情を尊ぶという事、それから、作曲者の顔には多分に、ベートーベンやブラームスを生んだ、ドイツという国の背景があったという事などです。

同時に同一のモチーフを持ち、共同製作をする事によって、作曲者にも作詩者にも制約がかからず、理想の曲が出来、一つのモチーフを、表情を変えつつ繰返す事によって、きき手に飽かせるところか逆にその音楽の中にぐんぐん引き込む事になり、又、背景になったドイツ的なものはこの曲自体が一つの交響曲を思わせるスケールの大きい四楽章的構成になったのです。

勇壮な所、甘い所、烈しい所、デリケートな所の対称が全く鮮かで、心にくいまで、いわゆる『男声合唱でなくては出せないもの』を配置した素晴らしい曲です。

『男声合唱を枯木なくして語ること勿れ』

作曲者のことば

私達が日々人生に於ける美しさの発見を重ねて行く様に、最近の私にとっての新しい経験は、男声合唱のみに存在する特殊な美しさに接した事でありました。そしてその美しさ、その力強さ、表現の巾の広さと云ったこれ等の数々の魅力に、否応なく引きつられて創られていったのがこの作品なのです。

この作品は、孤独なる人間の、人生に於けるつきつめた哀感といった、だれにでも通ずるであろう内容に基いて、一貫したイメージを持って、予め作曲し、それを心の友である中田君と、曲を訂正し、或いは詩を訂正しながら、作り上げて行ったもので、ある意味では、音楽と詩とが同時に生れて来た、とさえ云えると思っています。

これは私が意図を持って、ことさらに行なった訳ではありませんが、若しこの作品が、人々の心に触れ合う何ものかを持ち、それを皆さんに感じて戴けるとしたなら、それは中田君の惜しまぬ努力によるものであり、この紙上をかりて、感謝の意を表したいと思います。

中華料理 小 洞 天

中央区日本橋通り

TEL (271)6329・9121

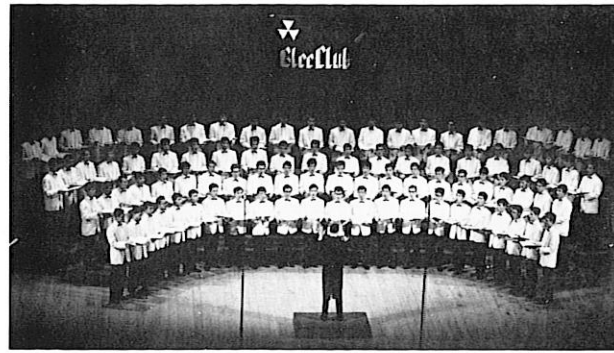


楽しさひろがるお買物


阪急

大阪梅田…阪急百貨店本店
神戸三宮…阪急神戸支店
東京…阪急大井町
東京…数寄屋橋阪急

●阪急提供 TV番組・白井鉄造構成 ミュージカルバラエティ「宝塚51」関西テレビ・フジテレビ 毎週金曜 夜10時15分



同志社グリークラブ

「十の詩曲」による六つの男声合唱曲

1965年1月29日早晩銃殺されたベトナム少年の霊に捧ぐ

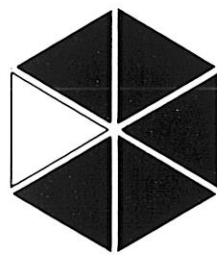
ドミトリ・シヨスタコヴィチ（1906年生れ）は、リヒアルト・シュトラウス、ヤン・シベリウス、セルゲイ・プロコフィエフ、パウル・ヒンデミットが亡くなり、イゴール・ストラヴィンスキーがすでに引退同然の現在、イギリスのベンジャミン・ブリテンを、むしろこれからの人として別にすると、現存する唯一の世界的大作曲家と云っても過言ではない。すでに12曲の交響曲を書き、数々の協奏曲もすべて傑

作として知られ、カンタータ「森の歌」は芸術的に高く評価されると同時に大衆的に大きな人気を獲得しており、オペラや映画音楽（「エルベ河」の主題歌は日本でも有名）に多くの名作を残している。しかも、今なお次の作品の発表は、世界中の注目のまとなっている。ベートーヴェン的であり、チャイコフスキー的であり、巨匠の風格と、表現の親しみやすさをあわせもった大家であることに異存の余地は全くない。

「十の詩曲」は、主として19世紀末から20世紀はじめにかけて作られた、ロシア革命詩人の詩によって、ソビエト革命前後の、ロシア民衆の生活、緊張、感情、精神、を合唱の集団的な力によって表現しようとしたものである。この曲を、現在鑑賞するに当たって大切なことは、単に、革命をうたった詩に曲がつけられているというだけでなく、革命期の人びとの、はげしい情熱、専制への憎しみ、自由への深い愛、そして人間の未来への大きな希望が、完全に音楽的なものとして、かたちづくられていることである。共産革命そのものは、我々の日常的テーマであり得ないとしても、今日なお、世界の平和と人類の繁栄は約束されておらず、シヨスコタヴィチがえがきつくした人間的感情は、全世界を通じ、全人類を通じて、現在時点に於ても、理解され共感されるものと云える。

今年の年頭における、ベトナム戦争の報道写真は、我々日本人にも、するどいショックと深い感銘をあたえ、人間愛の感情を呼び醒ました。大国の帝国主義的植民地主義の罪悪に対する怒りは、思想の相違を越えて、人間全体への愛情を沸騰させたのである。ここで男声合唱曲に編曲され、作詩をつけられたシヨスタコヴィチの音楽は、単にロシアのソビエト革命をうたうものでは決してあり得ないし、演奏者の共感、そのような歴史上の一事件の叙述ではなく、現在から未来へつづく全人間の感情として、とらえられるべきである。

Kuno-ya



笑くの家系店

夏期 軽井沢旧道に
手芸品の店を開設いたします
各種、豊富に取り揃えてございます
のでお引立のほど、お願い致します

本店＝銀座通り6丁目－TEL (571)2546
支店＝横浜ステーションビル2階－(44)1281

慶応義塾ワグネル・ソサィエティー

「Jagdlieder」狩の歌

シューマンと言えば、「トロイメライ」や「流浪の民」が先ず思い浮ぶことでしょう。

シューマンは美しい可憐なピアノ小品と、シューベルトに次ぐ沢山の歌曲を書いたロマン派の巨匠です。歌曲集「詩人の恋」に代表される100曲以上に及ぶ彼のリートは、文学的に非常に優れ、詩と音楽が見事な調和をなして、詩人シューマンの面目が躍如としています。

合唱曲では「流浪の民」が余りに有名で合唱曲もかなり作っていますが、その割に他の作品はほとんど知られていないようです。本日演奏致します「Jagdlieder」も我が国ではなじみの薄い曲ですが、シューマンの晩年1849年にラウベの詩につけた男声合唱のための五つの歌として作曲されました。その頃彼は東部ドイツのドレスデンで活動しており、リーターターフェルやゲザンクフェラインの指揮者を務め、合唱音楽に接する機会が多い時代でした。又この年は、シューマンの生涯中最も多作の年といわれております。

曲は急緩急緩急に構成され、ドイツの狩人魂を讃えた力強い、躍動的な男の歌であります。彼は森とか狩とかいった題材を好んでいたようです。同じ年、アイヒェンドルフの「森のロマン性」をもとにして、ピアノ曲集「森の情景」を作っているほどで、森と狩に対するシューマンの憧憬と、それらの創造主、神の深い敬虔の念が表われているといつてよいでしょう。

伴奏は、ホルン用に使われていますが、私達はピアノで演奏致します。

Zur hohen Jagd 鹿狩の時に

“さあ、楽しい狩に行こう。鹿を獲よう高貴な赤鹿を”

勇ましいファンファーレに続いて、歌はfではじまります。8拍子の3連符を軽快に刻んで、荒々しいまでに力強く、速いテンポで繰返し歌われます。

“この世の全てのものを一つにしてしまうには、狩人の挨拶と射撃が必要なのだ”

“だから、さあ、狩を讃えよう。天地を絶えず揺がす狩を！”

Habet Acht! 用心しろ

“狩では用心しろ！沢山の者が地を進む。近くにいる者がよろめいて、その拍子に弾が放たれ命を落とす者も多い。狩では用心しろ！”

勇壮なピアノ後奏で終った前曲から一変して、ささやくように、静かな狩場で、死んだ仲間のことを思っししみ歌われます。

“銃に弾をこめる時は撃たれた仲間のことを考えろ。神様、死者を救い給え、死者よ安らかに眠れ”

Jagd morgen 狩の朝

“おお、すがすがしい朝、爽やかな大気……故郷には愛しい家族が、我が胸にはみなぎる生命本能が、そして頭上には星が輝く”

神々しい森の朝を讃えて、胸に湧き上がってくる希望を、狩の歓びを歌い上げます。

“神よ、貴方の大きな家なるこの森が、いかに困難をともなうて作られたことか、しかしそれがいかにまたやすく作られたように見えることか、私は狩と生命を与えられた神に感謝せざるを得ない”

Frühe 早朝

“狩人は朝早く床を起き出で、一日の生活を始める。銃の照準を差す日の出の光は、一日の獲物よりもはるかに素晴らしい”

東の空が白みはじめて、陽が昇っていくように、ベースが静かに、ゆるやかにppで歌い出し、各パートがそれを追いかけて、やがて一つに溶け合います。森の夜明けは白いヴェールに包まれて、それに曙光が、一筋又一筋とほのかな紅をさして……動物達はまだ眠りの底です。静かな森の情景が素朴に、感動的に歌われます。

“夜明けは野獣の花嫁、夜明けと野獣はむつまじい、早期の光景は忘れ難いものだ”

Bei der Fiasche 酒場を囲んで

“ドイツほどの狩がどこにある……真剣な、厳しい猟術は我々ドイツ人だけが知っている”

愛国心に燃えて狩人は、誇らかにドイツの狩を讃えて歌います。

“さあ、なみなみと満つ杯を飲み干そう、ドイツの狩よ万才！狩こそ我が生命だ”

“ドイツ狩人魂万歳！”

東京より4時間

みちのくのくに磐梯山の麓！

びわ沢温泉

磐梯国際ロッヂ

国際ロッヂ TEL(猪苗代)450.451

東京案内所 TEL (342)3364~5



春・夏・秋は
磐梯周辺秘
境巡勝に
冬はスキーに

- 250名収容
- 近代的諸設備完備

京王観光／直営

新宿案内所

TEL(342)3351・3361

合 同 演 奏

組曲「蛙 の 歌」

蛙の大合唱は、ただ騒々しく、賑やかなのではないのです。生への激しい闘志がほとばしりでるのです。春夏の蛙はほんとうに楽しそうです。しかし秋の蛙は淋しげです。飢餓に苦しんでいます。心は言知れぬ孤独感、寂寥感に襲われています。大自然の暴威の中に、非力なもの、小さきものは必死に力を合わせて生きているのです。人間とて同じことです。この歌には、人間は蛙に象徴されています。人間の世界は、蛙の世界より優れているのでしょうか。蛙の詩人草野心平は皮肉っています。さあ、僕達も蛙に負けないう歌いましょう。

草野心平 詩集「蛙」より

小 曲

月のおもてを雪がふり。
まんまるい。
にびいろ緋の雪がふり。

土のなかには。
何万の。
眠ってるだろう。
蛙の眼。
そのいくつかは見開いて。
光ってもある。
蛙の眼。

月はいつしかうす暗く。
幽霊よりもうす暗く。

しんしん。
しんしん。
いまはなんにも見えないよ。

亡 霊

蛇めがおれの口に喰われおるわ。
みみずのように喰われおるわ。
つめたくぬるぬるしておいしいわ。

わい わい わい
らりらら らりらら

踊れるわ。踊れるわ。

脚が生えおるわ。

五本。六本。九本。十本。

わい わい わい
らりらら らりらら

うふふ。蛇めらが逃げおるわ。

畔から。畔から。田ん圃から、畔から。

逃げおるわ。逃げおるわ。

さあみんな集りなされ。

たんぼばにすかんばに火をつけなされ。

田のお祭りだ。万歳祭りだ。

わい わい わい

らりらら らりらら

青紫の。毒薬色の。

空が。田ん圃が。

ぐるぐるぐるぐる。

レンズになって廻りおるわ廻りおるわ。

鰻 と 蛙

カキクケコ

カキクケコ

ラリルレロ

ラリルレロ

ガッガッガ

ガギグゲゴ

ラリルレロ

なあんだ。鰻だ。

鰻がとおるんだ。

カキクケコ

カキクケコ

ラリルレロ

ラリルレロ

ガッガッガ

ガギグゲゴ

ラリルレロ

蛇祭り行進

びるるるるるる

はっはっはっはっ

ふっふっふっふっ

後足だけで歩きだした数万の蛙。

篠竹に青大将をつきさしたゲリゲを先頭に。

渦巻石鹼の◎のように

だいいりんを描いて行進する。

びるるるるるる

はっはっはっはっ

ふっふっふっふっ

おうい歩調をあわせろうい。

おういもっとその篠を高くあげろうい。

どの口からもどの口からも

螢がしゅっしゅっ流れでるのだ。

びるるるるるる

はっはっはっはっ

ふっふっふっふっ

まっ暗闇の青たんぽを。

煙草の輪のようにゆらゆらして。

螢たちが渦巻のまんまであがってゆく。

びるるるるるる

はっはっはっはっ

ふっふっふっふっ

行進曲は埋葬曲。

心はあかるいお祭り提灯。

そよかせは緋のうすもの。

星畑は花箋。

ろんど。

ろんど。

びるるるるるる

はっはっはっはっ

ふっふっふっふっ

秋の夜の会話

さむいね。

ああさむいね。

虫がいないね。

ああ虫がいないね。

もうすぐ土の中だね。

土の中はいやだね。

瘦せたね。

君もずいぶん瘦せたね。

どこがこんなに切ないんだろうね。

腹だろうかね。

腹とったら死ぬだろうね。

死にたかあないね。

合同演奏を指揮するに当って

木 下 保

東西四大学合唱演奏会の発足当時から毎年同じようなルールのもとで繰り返されてきて居るようだ。演奏会の形式は一向に変わりはないが、その演奏内容は年毎に変化向上し、今や単にこの演奏会が東西四大学相互の問題だけではなく、全日本の大学合唱団の中で最もレベルの高いものに発展した以上、自負と種々の意味の責任が生れて来ているのは当然のことと言えます。

私の貧しい見聞によれば400名近い男声合唱団は世界の先進国と雖えども殆んど例を見ないのであります。烏合の衆の合唱ならいざ知らず、統一された而も高度の芸術性を備えての演奏は、東西四大学の合同演奏は稀少価値の意味だけでも世界に誇るべき存在ではないであろうか。

こんな貴重な団体が年に一度だけ演奏されるのであるから、其の一度一度は極めて得がたい尊い瞬間である筈である。これは単に演奏会から見た価値だけに止まらない筈であります。東西四大学の学生諸君の生涯にとって将来望めそうにもない非常に印象的な体験なのであります。

以上のような私の考え方が妥当だとするなれば、どうして事務的な指揮をして指揮台を降りることが出来ましょうか。斯く感じると四大学合同演奏は私に益々重荷となつてのしかかつて来るのです。然し斯ういう感じ方考え方は今度始まったことではないのです。第八回合同演奏会に始まって、東京で行われた合同演奏会の第10回、第12回にも同じ心組みで、私の出来るだけのことは果して来たのですから、今更覚悟を決めることもないわけなのです。

然し正直に言つて大変「しんどい」ことです。東側の早稲田と慶応だけならそんなに感じないのですが、西側関学、同志社への単独練習と合同練習に足を運ぶことの辛さは又格別です。若し私に芸術への熱情と、学生への愛情と期待が無かったら、過去にも出来なかったであろうし、此度も将来も出来ることではないでしょう。

還暦を過ぎた老骨に鞭打つて東奔西走するのですから、当世風に言えばそれ相当の報酬があつて然るべきとも言えませんが、幸か不幸か私は昔ものなので、キリストではないが「人はパンのみに生きるにあらず」を信じて今も疑いません。音楽を愛する学生達が誠心誠意を以て此の有意義な会を持つという懸命な姿を見れば、音楽を通して人生を貫ぬこうと志した以上当然のことと思ひ込んで、身体の続く限りお役に立ちたいと念願している次第であります。

それで毎度思うことですが、各校に各々の特種事情があり、練習時間の制約なども考え合わせ、300名から400名に達する男声合唱曲となると、曲の雄大な構想やバランスの整った骨格を兼ねそなえ、而も日本のエリート意識の強い大学生達の心から大きく歌い上げる曲は極めて限られた範囲の合唱曲にならざるを得ません。

今年は大群の学生が歌つてふさわしい、草野心平詞・南弘明という若い作曲家の作曲した「蛙の歌」を演奏することになったのです。

無数の蛙と蛇が空間に如何なる叫びを歌い上げるか。御来場の諸賢に如何にアピールするか。とにかく全力をつくして演奏する心組みで居ります。御期待下さい。

あのころ……

組曲「蛙の歌」作曲者 南 弘 明

「蛙の歌」を作曲したのは、昭和30年の初夏、ばくが芸大作曲科2年に在学のときである。草野心平詩集のなかの数ある蛙の詩を読んでいるうちに、これを作曲したいという欲望をムズムズと感じ、1ヶ月足らずの間に完成した。

ばくはあのころ上石神井の芸大寮に住んでいたが、当時の寮附近はまだ田ん圃に囲まれていて、これを作曲していたころも季節柄、蛙たちの声がさかんにきかれたものだった。その年の芸大の大学寮で、ばく自身の指揮で初演すべく準備をはじめた。騰写刷りの楽譜を構え、草野心平氏の自宅をお訪ねした。これをきっかけとして、当時彼が新宿で経営していた酒場「火の車」にもしばしば出かけた。彼はあるとき、この曲をどうしても唱つてみってくれと云われた。合唱曲をひとりて唱うのは無理だとお断りしたが、彼は、それでもいいからやってくれと云われる。仕方なく、主なパートだけを唱つたら、彼はとても不満そうな顔をした。むろんばくも不満であった。

が、とにかく芸大での本番を聴いてください、御期待を裏切りはしませんからと、お願いしておいた。ばくは彼に対してそれだけ自信があったのだ。果して彼は、初演を聴きに来てくださった。そしてたいへん喜んでくださった。

それ以来、あちこちの合唱団によってばつばつ演奏されるようになった。

今日ここで演奏してくださる諸君は、この曲を作曲したときのばくと全く同じ年代であり、そのみなぎる若さをもって、みずみずしい響きをきかせてくれるものと思う。

ばくの望む演奏をきかせてくれるのは、この世代の若者以外にはありえないと信じている。





豪華な味つけに

味の素K.K.の複合調味料

ハイ・ミー®

●オレンジ袋(65g)…230円

味の素株式会社



北 村 協 一

昭和29年関西学院大学経済学部を卒業される。在学中は、関西学院グリークラブの指揮者として活躍され、昭和28年、仙台で行なわれた全日本合唱コンクールにおいて堂々優勝をかざった。卒業後東京コラリアーズに入団して、昭和31年には同団の指揮者となる。その後、ルナ・アルモニコの指揮者を経て、昭和36年藤原歌劇団に入団、合唱部クールプティ―専任指揮を務め、昭和38年6月同団によるプッチーニ「外套」を指揮、オペラ指揮者としてデビュー、昨年4月同団指揮者となる。現在、関西学院グリークラブの指揮者でもある。指揮を森正氏、打楽器を今村征男氏、また畑中良輔氏にも師事される。



石 井 歓

大正10年4月、東京に生まれる。昭和18年武蔵野音楽大学卒。昭和27年より2年間、ドイツ・スイスに留学。又昨年ソビエト政府の招きで訪ソ。現在桐明学園音楽大学学生部長。先ず外観から始まって、その人柄、作品、そして飲みっぷりに至るまで、何から何まで人一倍スケールの大きい人だと思って下さい。又そのスケールの大きい指揮で練習中は緊張の連続ですが、たまに「上等!! 悪くない」という言葉が先生の口から出た時の私達のうれしきといったらありません。全く頼りがいのある、豪快な大親分といった感じで、4年前のこの四連以来、早稲田グリー200名、まとめて面倒見てもらっているのです。



福 永 陽 一 郎

大正15年神戸に生まれる。昭和22年東京音楽学校本科ピアノ科中退。東宝交響楽団にピアニストとして入団。ピアノを井口基成、豊増昇両氏に、指揮法、作曲法、管絃楽法を近衛秀麿氏に師事。昭和23年藤原歌劇団に入団し、M・グルリット氏の下で、数多くのオペラを習得した。昭和31年同団指揮者となり渡米。昭和27年畑中良輔氏と共に、日本で最初のプロ・コーラス「東京コラリアーズ」を創設。プロ合唱活動のパイオニアとして多くの功績を残している。歌劇指揮者としては、日本で屈指のベテランであり、オペラのレパートリーは50を越えるが、又合唱音楽に関して経験が深く、編曲作品は数多くある。



木 下 保

明治36年10月14日兵庫県に生まれる。昭和3年東京音楽学校卒業後、ドイツ、イタリアに留学され、ネトケ・レーヴェ、バイセンホル両氏に師事され、昭和10年に帰朝された。その後東京音楽学校教授となられ、辞任後はオペラ方面に進出され、現在も「夕鶴」等で御活躍である。近年合唱の方にも力をそそがれて日本合唱界にとっては大きな存在となっている。一昨年還暦を迎えられたが、我々には少くとも20年は早過ぎる様に感じられる程お若く、お元気で、益々精力的な活動を続けておられる。四大学の合同の指揮をなさって下さるのは、第8回、第10回、第12回と、今回で4回目であります。



沖 本 ひ と み

大阪府立清水谷高校より大阪音楽大学ピアノ科卒業。昭和35年デビューリサイタルの後、日立ピアノ定期鑑賞会出演。大阪フィルハーモニーとベートーヴェンの第五協奏曲を協演。大阪市音楽団との協演など。38年第二回リサイタル。39年「大阪の秋」国際現代音楽祭の演奏で音楽クリティック・クラブ努力賞を受賞。原智恵子氏、野辺地勝久氏、田村宏氏に師事。



北 野 京 子

昭和35年大阪学芸大学特設ピアノ科卒業。38年毎日サマーコンサートで大阪フィルハーモニーとサン・サランスの第二協奏曲を協演。日立ピアノ定期鑑賞会出演。大阪楽友協会の各種演奏会に出演など。39年「大阪の秋」国際現代音楽祭の演奏で「大阪文化祭奨励賞」を受賞。井口基成氏に師事。



南 院 紀 子

昭和39年3月、桐明学園大学、ピアノ科卒業。卒業後同学園の助手をつとめ現在に至る。



新 沼 康 博

昭和18年宮城県石巻市に生まれる。29年田村宏氏にピアノの手ほどきを受け、31年永井進氏に師事。34年桐明学園女子高校音楽科入学大島正泰氏に師事。昭和37年桐明学園大学音楽部に入学引き続き大島正泰氏に師事現在に至る。



辻 敬 夫

昭和12年7月19日、京都に生まれる。幼少時、ピアノと作曲を和田巨弘氏に師事、後にピアノを豊増昇氏に、指揮法を斎藤秀雄氏に師事される。昭和36年、慶応義塾大学商学部を卒業され、大正海上火災に入社。現在本社船舶部に勤務。在学中は、ワグネルソサイエティー男声合唱団のメンバーとして、又ピアノ伴奏者として活躍された。趣味は音楽、日本画、油絵、観劇。

楽しいお買物はマツザカヤへ

●お買物の夢をおくる《松坂屋の商品券》をご利用下さい

ギンザ 松坂屋
TEL 572-1111 大代表

10月1日増築完成予定

関西学院グリークラブ



関西学院は音楽とともに育ってまいりました。1889年神戸の東、原田の森に神のみ名によって建てられた学院が讃美の歌を高らかに歌い始め、古き伝統のひとつとして今なお歌いつがれるのも、自然のことです。その歌声は、流れ出ては合唱のハーモニーとなって、われらのグリークラブに脈々と伝わり、1899年関西学院グリークラブが創設されたのです。

明治、大正の洋楽揺籃期には、洋楽の普乃に大きな役割を果たし、昭和にはいるやコンクール、演奏旅行を舞台として、合唱界に不動の地位を占めるようになりました。

特に第二次大戦中であって、部員わずか3名というときも、休むことなく歌い続けてきたことは、わたしたち大いに誇りとするとところです。戦後は新しい出発の情熱にもえ、関西はもとより、全日本合唱コンクールにおいてたび重なる優勝を記録し、本年は世界大学合唱祭にアジア代表として招待の名誉を受けました。コンクールを始め東西四大学合唱演奏会、春、夏2回の演奏旅行、神戸女学院、松蔭高校とのメサイヤ演奏会、海外合唱団との交歓を通じて、合唱音楽の普乃と社会への奉仕につとめてきました。マスタリー、フォーサーヴィスの建学精神によってつちかわれる部員の情操と識見の向上を求めつつ、この永遠に続く伝統の一環を守るべく、日夜練習に励んでおります。

[illegible]

早稲田大学グリークラブ



私達グリーククラブの母体は大正年間にありますが、着実に歩み出したのは戦後のことです。現在早稲田大学文化団体連合の中で最大の規模を持ち、厳格な規律の下に、合唱を通しての音楽芸術追求と共に、部員相互の親交を深め、又、集団生活の中から多くのものを学びつつ、人格形成をも目指して、180名の部員が各々有意義な学生生活を送っている事に誇りを持って、勉強のかたわら、毎日練習に励んでおります。

卒業生は 300名以上に及び、夫々の職場の合唱団で、或いは O. B. の合唱団である稲門グリークラブで活躍しております。ヴォーカル・カルテットのホニージャックス、グリーの育ての親であり、私達に「遙かな友に」の歌を下さった作曲家磯部俣、又イタリア留学中、数々のコンクールに優勝、日本に数少ない本格派ベース歌手である岡村喬生各氏もそういったグリー学部卒の一員なのです。

年間の主な行事は、学内式典、定期、送別、第九、東西四大学、東京六大学、等の演奏会。春、夏の演奏旅行、合宿、早稲田祭と数多くあり、それに又、関東各地の学園祭や催しによく招かれ、ラジオやテレビの出演等、私達の合唱がお役に立てればと飛び回り、親しまれています。

現在、学生合唱の進む方向について、様々な意見が出ております。単なるサークル活動として楽しみを求めるだけとか、音楽芸術の追求だとか、合唱団によって、色々の行き方があり、一概にどちらの行き方が秀れているとは云いきれませんが、私達グリークラブはようやく一つの方向を決定して、これからの進路にそって進もうとしているのです。

[illegible]

同志社グリークラブ



同志社グリークラブも今年で60歳を迎えることになりました。現在では部員の数も 140余名を有する大きな団体となりましたが、めまぐるしい歴史のうつりかわりの中で、アマチュア音楽団体として、いろいろの変遷をとげながら、一步一步今日まで伝統を築いて来ました。

草分け時代の明治34、5年頃は単に讃美歌を練習するための小さなグループに過ぎなかったのですが、現在私達同志社グリークラブの名譽顧問である片桐哲先生がグリークラブと名付け、初代指揮者となり、はじめて組織化されました。ところが当初この合唱団は宗教本位で聖歌隊であったため、これに飽きたらない学生が大正2年プリムローズという合唱団を組織して一般の合唱音楽の研究につとめるようになりました。以後この二つの合唱団は或は共に、或は別に発表会、コンクール、演奏旅行等に活躍しておりました。演奏旅行も日本国内は勿論、遠く満州、朝鮮、中国、台湾にもおよんでいます。

昭和16年、上に述べました二つの合唱団は合併し、同志社大学男声合唱団となり、両方の性格を兼ねるようになりましたが、戦争の激化と共に音楽活動もままならず栄光館での学徒出陣壮行音楽会を最後に、練習もとだえがちになりました。しかし、戦後、いちはやくその活動を始め、同志人のみならず京都市民に対しても新しい希望と感激を与えたのです。昭和24年には第一回立教大学グリークラブとの交歓演奏を開き、昭和36年には第一回関西学院グリークラブとの交歓演奏会も開き、又26年には東西四大学合唱連盟（早・慶・関・同）を結成し、合唱会発展の一翼を担っています。毎年の定期演奏会はもとより、テレビ、ラジオ、休暇を利用して行なわれる春、夏の演奏旅行、研究にと努力を続けております。そしてただ音楽追求のみでなく、それを通じてのメンバー相互のメンタルハーモニー、カレッジライフの向上にも精進を重ねています。

かくの如く半世紀を超える輝かしい歴史のあいだ、すでに 600名に近い先輩を送り、今なお音楽界に活躍中の内田栄一、大中寅二、湯浅永年、山口隆俊、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその中の一人であります。

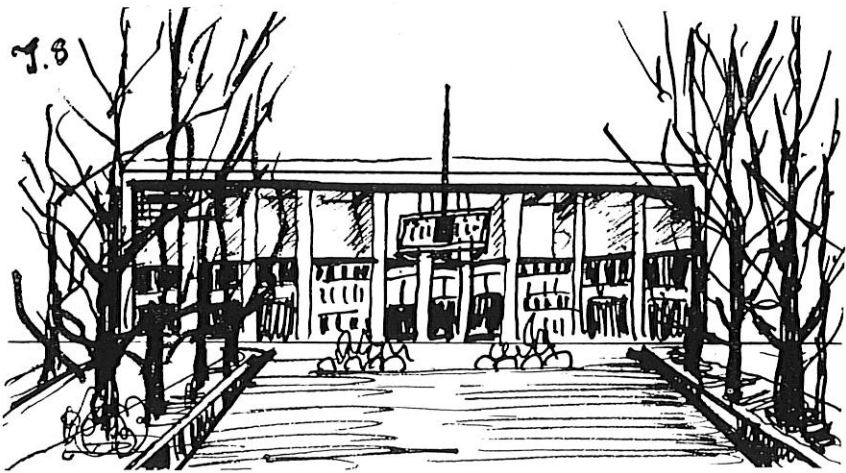
そして福永陽一郎先生を技術顧問として大久保昭男、中村博之両先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高い音楽の創造を目的に、なお一層前進への努力をしております。

名 譽 顧 問 片 桐 哲
顧 問 遠 藤 彰
技 術 顧 問 福 永 陽 一 郎
ヴォイス・トレーナー 大 久 保 昭 男
中 村 博 之

幹 事

幹 事	長 政	小 木	室 下	泰 利	司 彦	文 連 常 任 委 員	鹿 毛 民 雄
内 務	政 務	西 村	村 沢	義 裕	之 人	60周年記念事業 実行委員長	小 亀 豊 夫
外 務	外 務	滝 橋	沢 詰	崇 創	史 作	指 揮 者	中 野 皓 夫
会 計	計 算	丸 山	山 藤	昭 宣	男 雄	パート・リーダー	竈 波 英 夫
ス マ ー ジ ャ	ス マ ー ジ ャ	栗 工				Top Tenor	中 山 健 二
庶 務	庶 務					Second Tenor	木 村 忠 文
副 渉	副 渉					Baritone	
						Bass	

慶応義塾ワグネル・ソサイエティー



「イントロ・ワグネル」

関西で慶応義塾ワグネルソサイエティーとだけいうと、不思議な顔をする人がいるという。さしずめ慶応義塾グリークラブとでもいえば通ずるのか……。

しかし、我々が伝統と誇りを感じ、なんともいえない愛着を感じるのは、このワグネルソサイエティーという言葉の特殊性である。ワグネルとは、周知の如く、あの世界的大芸術家であつたりヒアルト、ワグナーのことであり、ソサイエティーとは社会である。“音楽を愛する者の集まった一つの集団”と呼べるであろう。歴史を繙いてその誕生を見ると、1900年三田山上に、数十人のものが集まり、音楽のユートピアを夢みて、ある人は器楽を、又ある人はコーラスをやり、高度の音楽にふれようとしたのである。その後明治、大正、昭和の三世代の多難な時期をのりこえて、先輩の溢れる若さと情熱が、現在の我々の礎を築いたのである。現在団員は 130名もの多くにのびりながら、依然として揺ぎない楽界に於ける名声を拍しているのも、木下保、畑中良輔、北村協一、大久保昭男の諸先生及び辻敬夫先輩の御指導の賜物だと思つて居ります。

週四回にものぼる練習に、相も変らぬ顔を合せてはニコリとし、飯を一日何回食べたといつては喜び、麻雀ではお互に借りた貸したとふれまわり、試験の時は例の事をやり、女性に会えば、一せいに視線が集まってしまう。そうした我々に人は、“ワグネル馬鹿”という光榮なる名前を授けてくれたのである。しかし、こうしたワグネルライフの中にこそ力強いワグネルトーンを生みだすべき力がひそんでいるように思われてならない。来る12月には、創立65周年と共に、第90回目の定期演奏会を記念して大阪、名古屋でも定期演奏会を行う事になり、今一層若き血潮に燃えている。

部 長 村 田 武 雄
顧問指揮者 木 下 保
専任指揮者 畑 中 良 輔

幹 事

責 任 者	森 村 紘 一	指 揮 者	河 西 忠 博
内 務 庶 務	牧 義 樹	副 指 揮 者	鈴 木 康 允
外 務 庶 務	吉 永 公 雄	パート・リーダー	
会 計	山 県 健	Top Tenor	小 路 明 義
文 連 委 員	加 藤 陽 三	Second Tenor	米 田 嗣 幸
マ ネ ー ジ ャ ー	新 山 修	Baritone	橋 口 優 彦
"	林 貞 明	Bass	県 正 彦
"	中 森 孝 夫		
"	安 藤 重 良		
"	宮 前 賢 三		
サブマネージャー	井 上 昌 宣		

四連の思い出

関学グリーOB 北村 協一

今年も四連の時期がやってまいりました。早いもので今回で14回目を迎えるわけです。私の学生生活（というよりもグリー生活といった方が正確でしょうか）を通じて、四連のステージは忘れることのできないものなのです。四連第1回を3年生で迎えた私は、第2回、東京の青年館で催された四連で清水修作曲の組曲「月光とビエロ」を指揮しました。その頃はまだ四連といっても一般にピンとこない頃で、昼夜2回の出演で入り工合もあまりよくなかったのですが、その時の関学の「月光とビエロ」の演奏は、今もってどこの団体もやったことのない演奏でした。何しろppで終るビエロだったのですから。それも元をたせば私の指揮のミスからで、ffで終るべきところが全く絶妙なppで最後のG durが鳴ったようなわけです。フェルマータしながら「ありゃ困った」と思ったけれども後の祭、冷汗三斗でした。その時今度同志社の指揮をされる福永陽一郎氏の伴奏で、アンコールにドライ・ボーンズをやったのですが、曲がまだ目新らしかったためか、こちらの方は大変うけたようです。

それ以後殆んど欠かさずに四連を聴いていますが、今年もまた関学の指揮で四連のステージを踏めるので大変喜んでおります。今度こそは12年前のようなへまをやることなく、いい演奏を御聴かせするつもりです。

俺達の頃 早大グリーOB 加藤 晴生

「オレタチノ頃は最高グッタ」どの先輩も四連談議となると必ずこのようにいう。どの点をとって最高といっているのかかわからないがいつの時代も四連にベストを尽していた満足感がこのような言葉をいわせるのだろう。

俺達も例外にもれず最高だったという。丁度10周年に当る年であったが、幸にも東京文化会館が完成し、一般公開のこけら落しを俺達がやったことは10周年記念への最大の贈り物であった。各校の持ステージを1つにしたのもそのためだった。俺達ワセタはヘーガーから4曲をとり上げたがいずれも男声の限界となる曲であった。俺達の演奏を聞いた批評家からはヘーガーのこれほどの演奏は多分聞けまいとや、分にすぎたお言葉をいただいて喜んだものである。

また4つの気分をひとかたまりにして盛り上げようとオーバーにすぎたきらいはあったが合同演奏に「枯木と太陽の歌」をとりあげた。今回、ワセタが作曲者の石井先生のもとでこの曲を演奏することは甚だ興味深く、俺達のとき以上に聴く人に感銘を与えてくれるものと期待している。

俺達はいさ、か大土段にふりかぶったきらいはあるけれど毎年6月になると現役の頃をなつかしく想い出すとともに四連の発展を祈ってやまない気持ちになるのである。

何はともあれ、第14回演奏会おめでとう

世界をリードせよ

同志社グリーOB 河上 文久

昭和27年に四大学第1回コンサートを持ち、それから早や13年にもなります。

毎年、四連コンサートの招待状をいただいておりますが、なかなか聴く機会がありません。しかし、聴かなくとも、そこいらの駆け出し合唱団とは歴史と伝統が違いますから、さぞかし立派なコーラスだろうと想像しています。

第2回目コンサートの頃、私は同志社グリーのマネージャーだった。四連のおかげで、各大学のマネと親しくなり、上京の度に彼等の家へころがりこみ、せっせと旅費を浮かしたものです。昭和28年9月20日、神宮日本青年会館にて第2回コンサートが開かれました。18日夜、関学グリーと呉越同舟、急行彗星号でガヤガヤと上京、三田の慶応にてレセプションの席上、同志社の大先輩山口隆俊氏が次のようなスピーチをされました「自分達の学生時代にはコーラスを目的として、これだけの青年が集まるチャンスはなかった。戦後の学生は色々と批判されるけど、優れた実行力を見事に発揮するのは、頼もしい事だ。今後つまらぬ競争意識をすて、日本の合唱芸術発展のため、力を合せて邁進してほしい」この一語につきと思う。合唱コンクールではないのだから、なごやかな内にも、お互いの個性をきそいあって研鑽努力につとめ、世界の合唱をリードしてほしいものです。比類なき美しいハーモニーは日本の至芸なるのですから。

四連の思い出 ワグネルOB 伊東 茂雄

今から4年前、四連は10周年を迎え、私達学生指揮者は大阪に集まって、四連如何に在るべきか、を語り合いました。

又、東京でも同様のメンバーが、合同指揮をお願いしてあった木下保先生を中心に、この問題をテーマに、夜遅く迄討論しました。

その結果、少々硬くてもよい、各校のベストを尽した演奏をし、音楽の深淵を探り、その為には一切の妥協を排したい……、という点で意見の一致をみました。

従来、各校とも硬い曲と軟い曲（いわゆるウス物）を1ステージずつ演奏し、合同演奏をあわせると何と9ステージにもなり、いささかダレてしまうむきがありました。第10回からは、合同演奏をいれて5ステージのスッキリしたものにし、各校とも全力投球の1ステージ制にしました。このやり方が、とりたてて批難の声もなく、4年間支持され続けられて来たのを見て、これでよかったのだと思っています。

更に、合同演奏が「一堂に会して歌う」事から一歩進んで、「四連でのみ可能な演奏」にポイントを移したのも、第10回の特徴です。

歌う側から見れば、四連は、音楽に対するひたむきな情熱をもって、血のにじむ様な練習を経た者に値する、厳しくも美しい場、だと思います。

聴く側の1人として本日この場に臨む事のできるの、私にとって、何よりの喜びです。

東西四大学の交流

東西四大学合唱演奏会も、今回をもちまして第14回を迎える事が出来ました。昭和27年9月に第一回を開催してから早や14年目になりますが、当初交流の少なかった東西の大学合唱団が、合唱を通じて友好関係を深めようという意味を持って始められた東西四大学合唱演奏会も、今日ここに到って全日本の大学合唱団における或る意味での指導的立場に立つ程にまで成長して来ました。

特に来年は第15回を迎えるのですが、それを機会にこの演奏会をもっと飛躍させようと今から計画しております。この演奏会の歴史を振り返りますに、その1回1回に進歩発展がうかがわれその躍進は止まる所を知らないようです。

この演奏会は隔年に関東と関西で開催されいわゆる東西四大学の交歓演奏会形式をとっています。三日間のスケジュールの中で他校の学生と話し、合唱することによって、お互を知り各校との理解を深め、又技術交流をはかるのです。我々一同、本日この演奏会で、力一杯歌い楽しく有意義な会にしたいと思います。

東西四大学合唱演奏会史

第1回	昭和27年9月21日	同志社栄光館	9月22日	大阪産経ホール
合同演奏	長井 斉指揮	「Ave Maria」「愛でし友」		
第2回	昭和28年9月20日	日本青年会館(昼夜)		
合同演奏	福永陽一郎指揮	「いざ起て戦人よ」「おお美しき星よ」「希望の島」		
第3回	昭和29年9月18日	同志社栄光館	9月19日	大阪産経ホール(昼夜)
合同演奏	長井 斉指揮	「Zum Gloria」「Zum Sanctus」「秋のビエロ」		
第4回	昭和30年9月18日	日本青年館ホール(昼夜)		
合同演奏	福永陽一郎指揮	「Die Nacht」シューベルト「詩篇」103篇 media nita		
第5回	昭和31年9月15日	宝塚大劇場	9月16日	同志社栄光館
合同演奏	林 雄一郎指揮			
第6回	昭和32年6月23日	日本青年会館(昼夜)		
合同演奏	磯部 俣指揮	「夏が来たかと」「ふるさと」		
第7回	昭和33年6月21日	同志社栄光館	6月22日	大阪毎日ホール
合同演奏	D・ラーソン指揮	「Rock-a ma soul」「What kind a shoes」「Never said a mumbarin' word」「Joshua fit de battle of Jericho」		
第8回	昭和34年6月21日	共立講堂(昼夜)		
合同演奏	木下 保指揮	山田耕筈作品集「からたちの花」「待ちぼうけ」「あわて床屋」「ベチカ」		
第9回	昭和35年6月25日	京都府会館ホール	6月26日	大阪フェスティバルホール
合同演奏	長井 斉指揮	「兵士の合唱」「巡礼の合唱」		
第10回	昭和36年6月17日、18日	東京文化会館		
合同演奏	木下 保指揮	「枯木と太陽の歌」		
第11回	昭和37年6月23日	京都府会館ホール	6月24日	大阪フェスティバルホール
合同演奏	福永陽一郎指揮	「Listen to de Lambs」		
第12回	昭和38年6月22日、23日	東京上野文化会館		
合同演奏	木下 保指揮	「若者の歌」		
第13回	昭和39年6月13日	神戸国際会館	6月14日	大阪フェスティバルホール
合同演奏	北村 協一指揮	「Credo」		
第14回	昭和40年6月19日、20日	東京文化会館大ホール		
合同演奏	木下 保指揮	組曲「蛙の歌」		

飲み口……すっきり

ノドごし……爽やか

酔い心地……おおらか

これがビールだ！

青年のビール

サントリー

ビール

■大瓶115円 ■小瓶65円

ブリッセル・C.S.P主催食品審査会

2年連続金賞獲得

SUNTORY

定期演奏会のお知らせ

関西学院	未	定
早稲田	12月10・11日	厚生年金会館大ホール
同志社	大阪11月8日 京都12月上旬	
慶応義塾	12月5・6日	厚生年金会館大ホール

私達は盲人に親切をする人々の集りです。
どうぞ皆様街頭で白い杖を持った盲人を見かけられ
ましたら皆様の暖いお心で安全に誘導して下さい様
お願い致します。

盲人の腕をとって渡ろう 横断路 白い杖みたら 気軽に手をかそう

これは私達の標語の一部です。

ひとみ会

港区芝白金三光町169

＊みんなで歌おう魅力あふれる合唱曲の数々!!



＊フォスターの名曲はすべてこの1枚で!!

《フォスター・コーラス・アルバム》

ケンタッキーのわが家 / バンジョーを鳴らせ
/ 夢みる人 / お、スザンナ / オールド・ブラ
ック・ジョー / 老犬トレイ / スワニー河 / 金
髪のジュニー / 主人は冷き土に / 君眠るかの
地に / 草競馬

■右丸 寛指揮日本合唱協会

(WS-3046 ステレオSSS録音)

■WS盤各¥1,800 ■OS盤各¥2,000

《南国のバラ》

南国のバラ / 百姓女がね
こをなくした / セレナー
デ / 祝え神を / アヴェ・
マリア / 札押のヨーデル他
■ウィーン・アカデミー合唱団
(WS-3022 30cmステレオ)

《主よ、みもとに近づかん》

一世界合唱名曲集一
アヴェ・マリア / 米たれ、甘き
死の時よ / ハレルヤ / 楽に
よす / 巡礼の合唱 他
■モルモン会堂聖歌隊
リチャード・P・コンディール指揮 他
(OS-454 360サウンド)

コロムビア古典合唱音

楽名曲選第9集
バッハ
カンタータ第110番
われらが口、笑いも
てみつ 他
■フリーデリーク・サイラー(ソプラノ) 他
(OS-386 30cmステレオ)

《見よ、勇者は帰る》

ヘンデル:オラトリオ「マカベウス
のユダ」より、行進曲と
合唱「見よ、勇者は帰る」
他
■バイロリッヒ・ジュッツ合唱
団、フオルツハイム室内管
弦楽団 他
(OS-361 30cmステレオ)

オラトリオ「メシア」より

「クリスマスの音楽」
ヘンデル
レチターティーヴォ「わが民
を慰めよ」 他
■レナード・バーンステイン指揮
ニューヨーク・フィル
アデル・アディソン(ソプラノ) 他
(OS-156 30cmステレオ)



発売元
日本コロムビア株式会社



製版印刷の御用命は

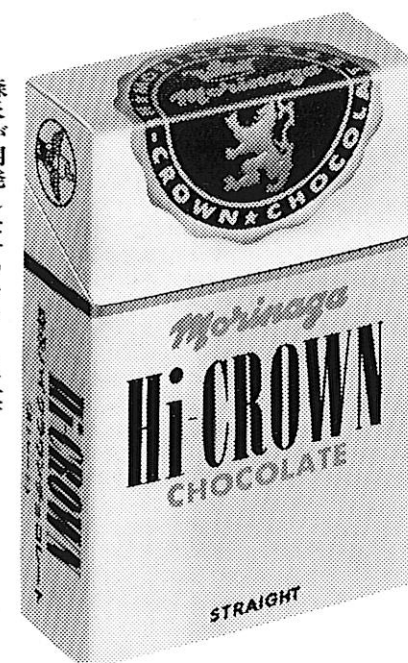
KK. 江戸製版・印刷

東京都文京区本郷2-17-2

TEL (813) 3051代表

《誠実な品質》

誕生以来満一年 名実ともに決定
版という不動の地位を確立したこ
とは 一時的流行・商品消長が激
しいチョコレート界にとつては
まったく異例の出来事です



森永が開発したチョコレート工学
と最新設備を駆使して創造された
《誠実な品質》 これこそ チョコ
レートの最も正しい考え方であり
この勝利によってこそ 私たちは
パイオニアの使命を果たしたものと
確信しております



森永ハイクラウン

チョコレート
●赤パック 特選純ミルク ●黄パック カシューナッツ
●青パック クランチ ●黒パック ストレート 70円